



A Clear Vision For Life®

参天製薬株式会社

第105期 株主通信



すべては目の健康のために

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

証券コード: 4536

長期的な経営ビジョン

「世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニー」の実現

- 真の顧客ニーズ^{※1}を深く考え
- 競合企業に対する明確な強みをもって
- グローバルな競争力・存在感を持つ会社

※1 真の顧客ニーズ: 患者さん・生活者・医師・医療従事者のアンメットニーズ

基本理念

天機に参与する

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、
これによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、
患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、
社会への寄与を行う。

グローバル
TOP5
2013 海外売上比率
16%

現中期経営計画
2017

海外売上比率

30%

2020

グローバル

TOP3 以内

日本・アジア

No.1

海外売上比率

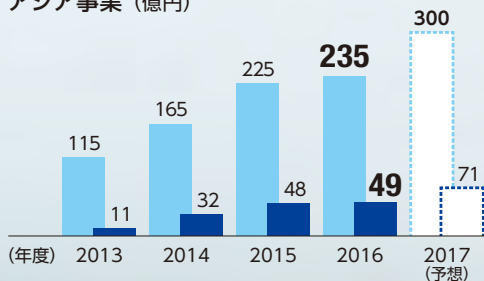
40~50%

現中期経営計画

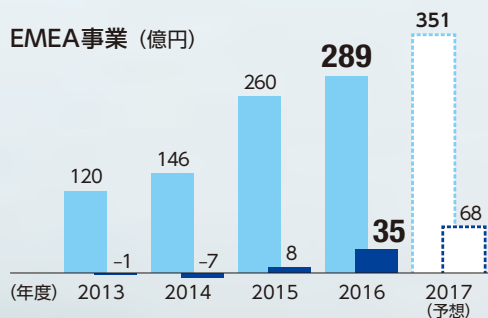
アジア・EMEA^{※2} の成長と収益化 米国・その他への展開準備

海外事業の売上収益、営業利益

アジア事業 (億円)



EMEA事業 (億円)



■ 売上収益 ■ 営業利益 (研究開発費控除前)

※2 欧州、中東およびアフリカ

当期も過去最高の売上収益を達成。「長期的な経営ビジョン」の実現に向け、引き続き成長を目指してまいります。



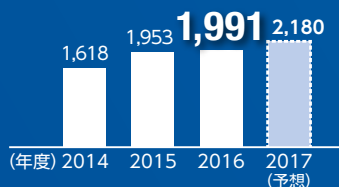
Q. 当期の業績を振り返ってください

当期(2017年3月期)は、薬価改定、円高、抗リウマチ薬事業譲渡のマイナスの影響を吸収し、国内・海外全ての事業において増収となりました。主力の国内医療用医薬品事業では、医療用眼科薬の主要な領域全てでシェア1位を獲得することができました。

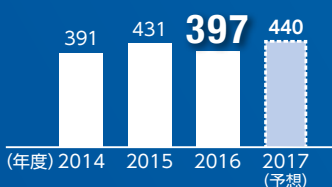
これらの結果、当期の売上収益は1,991億円(前年同期比1.9%増)となり、過去最高を達成しました。経常的な業績を示すコアベースでは、第4四半期にアジア・EMEA(欧州、中東およびアフリカ)での事業基盤強化および研究開発の進展に伴う将来成長へ向けた投資費用が前倒しで発生したことから、営業利益397億円(同7.8%減)、当期利益287億円(同1.6%減)となりました。なお、IFRS(フル)ベースでは営業利益325億円(同59.5%減)、当期利益231億円(同56.8%減)となりましたが、これは、前期(2016年3月期)に抗リウマチ薬事業の承継に伴う一時的な収益があったためです。

連結財務ハイライト

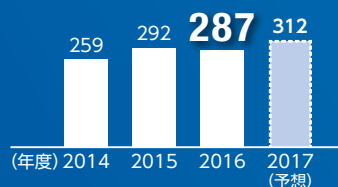
売上収益 (億円)



コアベース営業利益 (億円) ※1



コアベース当期利益 (億円) ※1



※1 IFRSフルベースから一部の収益・費用(製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用)を控除した、コアベース(経常的な業績を示す)による数値です。

※2 2015年4月1日に普通株式1株につき5株の割合で株式分割しました。2014年度の数値については、分割後の株式数に基づき遡及的に算出しております。

Q. 2017年度の計画は？

長期的な経営ビジョンに掲げた「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」を目指し、引き続き眼科医療への貢献に取り組んでまいります。私どもは、日本・アジアでの強いプレゼンス、失明の可能性のある緑内障領域をはじめとした豊富な製品ラインナップが強みであると考えています。これらの強みを活かすことを第一に考え、事業の主軸として日本市場でのプレゼンスと生産性を高めるとともに、アジア市場でのさらなる成長、EMEA 市場でのプレゼンス向上に努めてまいります。

また、既存製品と差別化された複数の開発品が後期フェーズを迎えています。最近では、米国において非後眼部ぶどう膜炎を対象とした硝子体内注射剤「DE-109」の申請を2017年2月に行いました。2018年発売に向け米国参入の準備を進めていきます。これは希少疾病用医薬品で、患者さんや処方する医師の数は限定的です。絞られた対象の医師に対する最適な販売体制を構築し、眼科のリーディング・カンパニーとして疾患に苦しむ患者さんの治療に貢献していきたいと考えています。

業績面では、国内および海外事業の成長により、売上収益は中期経営計画より約6%増の2,180億円(前年同期比9.5%増)、コアベースでの営業

利益は440億円(同10.9%増)、コアベースでの当期利益は312億円(同8.8%増)を見込んでおり、増収・増益を達成します。

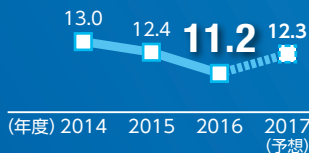
Q. 株主の皆さまへメッセージをお願いします

私どもは株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題と位置づけており、研究開発投資、成長戦略の実行など将来成長のための資金を確保しつつ、配当性向40%を目途に、安定的かつ持続的な配当実施に努めています。当期の株主配当については、中間配当13円、期末配当13円の計26円とさせていただきます。次期については中間配当13円、期末配当13円の計26円を予定しています。

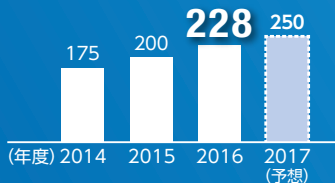
今後も参天製薬グループは価値ある製品とサービスの提供を通じて世界から信頼され、認められる企業を目指してまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

代表取締役社長兼CEO 黒川 明

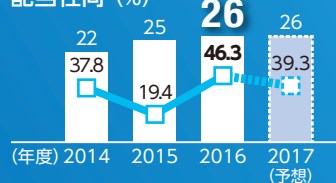
コアベースROE (%)※1



研究開発費 (億円)



1株当たり配当金 (円)※2
配当性向 (%)

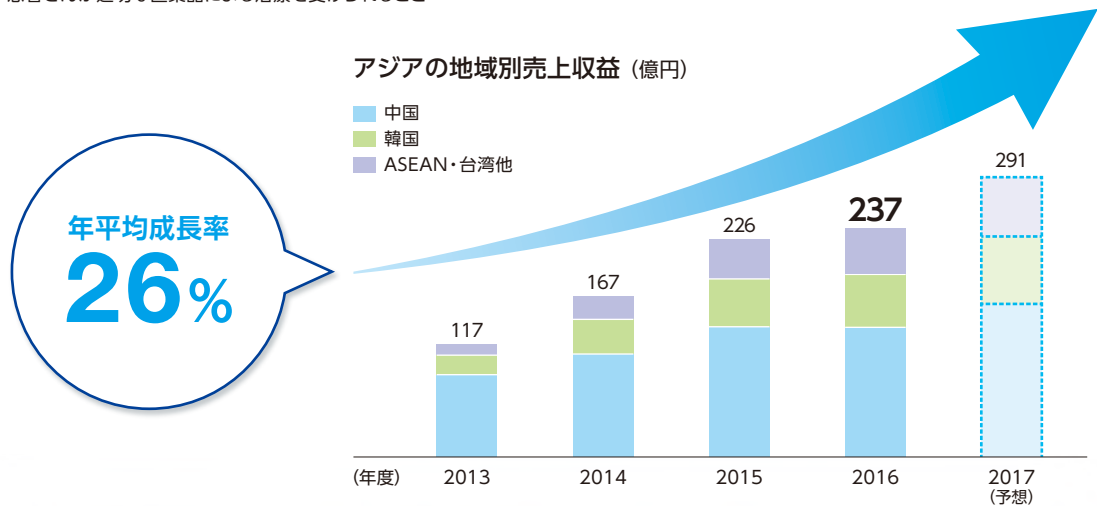


各国の多様なニーズをとらえ アジアの眼科医療の発展に貢献

世界人口の6割近くを占めるアジアの眼科薬市場は、今後も高い成長率が見込まれます。一方、各国で市場環境や文化が異なり、韓国・台湾・シンガポールのような医療先進国がある半面、医療や医薬品アクセス*の格差が課題となっている新興国があるなど、国ごとに異なる顧客ニーズが存在するという大きな特徴があります。

当社は眼科のスペシャリティ・カンパニーとして各国の多様なニーズにきめ細やかに対応することで、アジアの眼科医療に貢献するとともに市場を上回る成長を実現し、「アジアNo.1」を目指してまいります。

* 患者さんが適切な医薬品による治療を受けられること



中国

中国では、ドライアイや感染症のニーズが高く、それぞれを対象とした「ヒアレイン点眼液」や「クラビット点眼液」などを販売しています。

また、中国国有企業と合併会社を設立し、より幅広い患者さんへ適切な価格で高品質の医療用眼科薬を提供するための製造施設を建設しています。

韓国

日本と同じく高齢化が進む韓国では、緑内障やドライアイの患者さんが増加しています。当社では、「タプロス点眼液」、「コンプト配合点眼液」、「ジクアス点眼液」など充実したラインナップを販売し、一層のプレゼンス向上に取り組んでいます。

参入準備中

シンガポール

当社は、アジア太平洋地域最大の眼科研究所であるシンガポール眼科研究所 (SERI) と共同研究を行っています。特に、アジア地域で頻発する眼科疾患に対する新たな治療薬の開発を目指しています。

● 事業拠点



合成抗菌点眼剤「クラビット1.5%」のラウンチセミナー
(2017年2月 ベトナム)



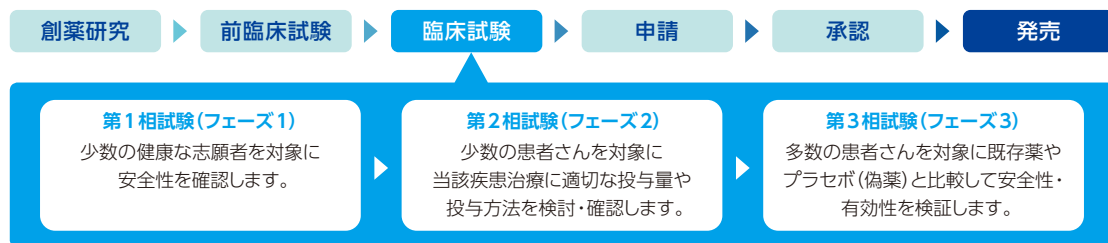
アジア太平洋緑内障学会2016 (2016年7月 タイ・チェンマイ)

医療ニーズに合わせた研究開発を推進

参天製薬では、眼科に特化した研究開発を推進しています。特に、治療薬がまだ世界的に十分普及していない「角結膜疾患」や、患者数が増えつつある「緑内障」および「網膜疾患」を重点領域として、医薬品の開発を行っています。2017年5月10日現在、医薬品の開発状況（臨床段階）は以下の通りです。

開発コード・品名	一般名	効能・効果	地域	臨床試験			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
DE-085	タフルプロスト	緑内障・高眼圧症	中国						2016年3月
DE-089	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	中国				2012年1月		
			アジア						2016年2月
DE-109	シロリムス	ぶどう膜炎	米国				2017年2月		
			日本						
			欧州						
			アジア					2015年4月	
DE-111	タフルプロスト/ チモールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	アジア						2016年4月
DE-117	オミデネバグ イソプロピル	緑内障・高眼圧症	米国						
			日本				フェーズ2b/3		
DE-118	タフルプロスト	緑内障・高眼圧症	アジア						2016年4月
DE-122	carotuximab	滲出型加齢黄斑変性	米国		フェーズ1/2				
DE-126	sepetaprost	緑内障・高眼圧症	米国		フェーズ2a				
DE-128 (InnFocus MicroShunt)	-	緑内障	米国				フェーズ2/3		
			欧州						
シクロカット	シクロスポリン	ドライアイに伴う 重度の角膜炎	欧州						2015年7月
			米国						
			アジア						2016年11月
			その他						2016年4月
ベカシア	シクロスポリン	春季カタル	欧州					2016年12月	
カチオプロスト	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州						

！ 医薬品が承認されるまで



TOPICS

トピックス

個人株主様向け工場見学会を能登工場で実施

当社のものづくりのこだわりへのご理解を深めていただくため、2017年3月、当社では初となる個人株主様向け工場見学会を開催しました。485名からご応募をいただき、うち抽選に当選した54名の方に、点眼剤生産工場としては世界最大規模である能登工場を見学していただきました。

当日は、医療用点眼剤の製造ライン、点眼液の原料となる水の精製設備を見学いただき、チリやホコリをジェット気流で取り除くエアシャワーを体験していただきました。

今後も株主様との対話を通じ、当社の魅力を知っていただく機会を作っていきたいと思っております。



参加された株主様からの声

- 医薬品を扱う工場だけあって非常に清潔。自動化も進んでいて静か
- 24時間稼働していることに驚いた
- 無菌状態を保つための努力や設備がすごい
- 従業員の皆さんの衛生管理に対する意識の高さに感心した
- 若い人たちが多く活気が感じられた
- 北陸の名物が揃ったお弁当が素敵だった

ブラインドサッカーを通じ、視覚障がい者支援活動をサポート

当社は、患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、社会への寄与を行うことを基本理念に掲げており、その理念に基づきCSR活動を行っています。その一環として、この度NPO法人日本ブラインドサッカー協会(JBFA)のビジョン、「視覚障がい者と健常者が当たり前前に混ざり合う社会を実現すること」および、ミッション「ブラインドサッカーに携わるものが障がいの有無にかかわらず、生きがいを持って生きること」に寄与すること」に共感し、同協会とパートナーシップ契約を締結しました。

当社は、ブラインドサッカーを通じて、視覚障がいがある方々や、眼科の疾患を患っている方々をはじめ、全ての方々の夢や希望を応援するとともに、JBFAの活動支援により、目に対する社会からの関心を高める機会につなげていきたいと考えています。



提供：日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーとは

アイマスクを装着し、転がると音の出るボールと周りの声で全盲の選手がプレーする5人制サッカー(ゴールキーパーは目の見える選手が務める)。2004年からパラリンピックの正式種目となりました。国内ルールでは、アイマスクを装着すれば目の見える人、弱視の人と一緒にプレーすることが認められています。

安心・安全な製品を 確実にお届けするために

患者さんの健康に貢献するために、もっとも大切なのが医薬品の品質です。
点眼剤製造において医薬品品質の安全性、有効性、均一性を守るため、
参天製薬では、特に「水」、「空気」、「人」について徹底的にこだわり抜いています。



水 空気 人

注射用水レベルの純度

点眼剤の命である水。参天製薬では、医薬品等の製造品質管理基準でも特に厳しい品質管理が求められる、注射用水に匹敵する純度の水を精製し、使用しています。

外科手術室並みの クリーンさ

点眼剤は、法律で「無菌製剤」であることが求められるため、汚染リスクに応じた適切な空気清浄度レベルを設定しています。もっとも厳密な管理が求められる「充填ゾーン」では、手術室に匹敵する清浄度を保っています。

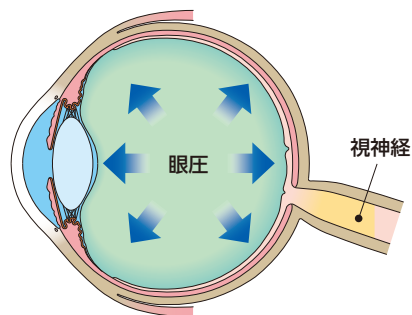
品質を最後に守るのは人

無菌作業の資格制度を設けたり、正しい作業方法や衛生管理についての教育訓練を実施するなど、厳しい品質基準を守り続けるための人材育成にも注力しています。

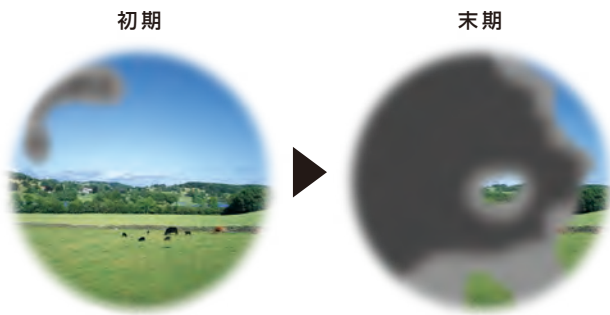
緑内障とはどんな病気?

目から入ってきた情報を脳に伝達する器官を、視神経といいます。緑内障とは、この視神経に障害が起こることにより、視野(見える範囲)が狭くなる病気のことです。眼圧が必要以上に高くなると視神経が圧迫され、障害が起こると考えられています。進行は非常に遅く、片方の目の視野が欠けた場合でも、もう一方の目からの情報で補うため、かなり進行するまで自覚症状がほとんどないのが特徴です。

眼圧の上昇が視神経を圧迫



視野障害のイメージ像 (右眼で表示しています)



珍しくはない緑内障

日本人の中途失明原因の第1位となっているのが緑内障です。また、40歳以上の日本人の20人に1人が緑内障を発病しており、年齢を重ねるにつれて増えていきます。40歳を超えると、緑内障は珍しくない病気といえます。

早期発見が大切

初期に自覚症状のない緑内障は、眼科医での定期的な健診により、早期発見することが重要です。治療方法としては、眼圧を下げる効果のある点眼薬などにより、病気の進行を抑えることが基本となります。一度失った視野が回復することはありませんが、治療により、視野喪失の進行を最小限に留めることが可能です。

早期発見

早期治療



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載 URL : <http://www.santen.co.jp/jp/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL:0120-094-777

会社概要 (2017年3月31日現在)

社名	参天製薬株式会社
本社	〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号
創業	1890年
設立	1925年
資本金	7,792百万円
工場	能登、滋賀、他
研究所	奈良研究開発センター、他
従業員数	3,557名(連結)

株式に関するお手続きについて

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社

コーポレート・コミュニケーショングループ

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL: 06-6321-7000 (代表)

06-4802-9360 (広報 IR)

Email: ir@santen.com

URL: <http://www.santen.co.jp>



ホームページに最新の情報を掲載しております。
ぜひご覧ください。



FSC®認証紙と植物油
インキを使用しています。

参天製薬株式会社

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。